

職業奉仕および米山月間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



職業奉仕について

職業奉仕は「職業をもって奉仕する」ということです。職業奉仕における、職業という意味は「天職」と言われています。仕事がある、お金を儲けているということだけではなく、社会における「位置づけ」と考えた方がよいのではないのでしょうか。NPOに属されている方々や、社会に奉仕されている方々、退職されたが、その職業をもって社会に役立てたいと思っておられる方々、つまり、社会とかかわりを持っている方々、かかわりを持ちたいと思っておられる方々が天から与えられた「位置づけ」いわゆる「天職」と考えた方がよいのではないのでしょうか。であるならば、職業奉仕は、私たちの人生そのものではないのでしょうか。天職を全うすることが世の中に対する奉仕となる、その指針は「4つのテスト」であり、「最も奉仕する者、最も報われる」という言葉ではないのでしょうか。あなたが持っている「技術」、「知識」、「経験」、「資産」、「人材」、「資材」等を「奉仕の心」で商品にし、形（例えば出前授業のような）にし、社会に提供する、そして利潤や感動を得てさらに提供し、新たな商品や形を開発する、残った利潤で自身や従業員たちの家族を養い、次世代へと繋げる、奉仕で得た感動を次世代へと繋げる、さらに利潤や感動を「奉仕活動」、「寄付」として社会に還元し、そして、恵まれな

い人々や地域へ貢献するというサイクル、これは、まさにロータリーの活動であり、あなたの人生そのものではないのでしょうか。

米山奨学制度について

米山奨学制度は、日本のロータリー独自の奉仕活動であります。RIに認定された制度であります。日本に留学している学生を支援する活動でありまして、皆様のご寄付を集約し、スポンサークラブを通じて、奨学金を提供する制度であります。クラブを通じることにより、お互いに顔の見える奨学制度であります。奨学生とは常に交流でき、しかもクラブの負担のない効果的な奉仕活動であります。特に台湾におきましては目覚ましい成果が上がっています。台湾では、米山学友（元米山奨学生）たちが、日本人に対し同じような奨学制度を始めました。また台湾にはパストガバナーを初めとして多くの米山学友の方々がおられます。そのことは、あの東日本大震災に多大な支援金をいただいたことから、あらためて認識することができました。また各国に米山学友が結束して米山学友会が結成されています。このように多感な青年時代を日本で米山奨学生として過ごしたことが、日本への良い思い出として残っていることは国際親善に大きく貢献しているのではないのでしょうか。